

蒲郡市教育委員会令和4年6月定例会会議録

開会日時 令和4年6月24日（金）午前10時00分

閉会日時 令和4年6月24日（金）午前11時05分

場 所 蒲郡市役所6階第2委員会室

○出席委員の氏名

教育長 壁谷 幹朗 教育長職務代理者 渡辺 充江
委 員 石渡 篤史 委 員 水藤 頼利 委 員 稲葉千穂子

●説明のために出席した者の職氏名

教育部長	岡田 隆志	教育政策課長	柴田 剛広
学校教育課長	宇野 晶由	学校給食課長	竹下 暁
生涯学習課長	三浦次七郎	スポーツ推進課長	磯貝 友宏
博物館長	竹内 真治	書記（教育政策課主幹）	伊藤 孝慶

議事日程

- 1 5月定例会の会議録の承認
- 2 教育長の報告
- 3 報告事項（各課報告事項）
- 4 その他

出席者5名により定足数を満たしたため、令和4年6月定例会は成立。

1 5月定例会の会議録の承認

事前に届けられた会議録については意見なく承認された。

2 教育長の報告

(1) 新型コロナウイルス感染症に関わる対応について

(2) 市議会6月定例会を終えて

(3) その他

① 学校訪問について

3 報告事項（各課報告事項）

教育政策課

学校教育課

学校給食課

生涯学習課

スポーツ推進課

博物館

質疑応答等

○稲葉委員

三谷小学校の学校訪問に伺った際に、教室の入口のところに児童の名前とバーコードがついたカードのようなものがありました。市議会議員さんに聞かれたのですが、私もどういふものかわからなかったのでお答えできませんでした。その後、図書カードのようなものということはわかったのですが、各学校で違うのか、またこれは図書館とは何か関係があるのでしょうか。

●教育政策課長

直接、図書館と連携しているものではないと思います。

●学校教育課長

学校の図書館で借りるためのもので、全校それぞれあると思います。

○教育長

学校訪問の際はその都度学校図書館を覗いてきますが、ブックパートナーさんのおかげで、非常に充実しており、ありがたいと感じています。

○渡辺委員

学校訪問の際に感じたICT機器を使った授業について。昨年度はとりあえず使っているという印象であったが、先生方も使い方に慣れてきており、授業にあった使い方ができるようになってきたと感じています。また、ICT機器ではなく、従来のやり方のものであっても、それはそれで良さがあったと感じました。

授業の内容によりうまく使い分けることができれば良いと思いました。

ちなみに、大府市では、読書感想文や詩、作文などについてタブレットを活用して提出する学校もあるようです。

○渡辺委員

交通安全に関して部署ができたという話でしたが、蒲郡南部小付近の薬師林の交差点などで黒いガードのようなものを見かけました。これはその部署ができたことによる成果の始まりでしょうか。

○教育長

それが一つの成果の現れなのか、もっと将来的なことを計画しているのか、現時点で把握しておらず申し訳ありませんが、しっかりと動いてくれていると思います。

○石渡委員

環境チャレンジの事業内容を教えてください。

●生涯学習課長

元々、アオサの問題があり、それを何とかしようという取り組みが始まりのきっかけと聞いています。学校としては竹島小1校から始まったようです。その後、アオサに関しては何年か経つうちに深刻な問題ではなくなりましたが、蒲郡に住む私たちとして海について学ぶということは大事だということから、アオサの研究者＝海の専門家の方たちの思いが継承され、1校で始まったものが11校で行われるようになりました。

○石渡委員

小学校13校中11校ぐらいが参加しているということは、2校ぐらいこの活動をしていない学校があるということですね。

●生涯学習課長

例えば、中央小は、海というよりは山に近い環境にあります。ただ、これまで行ってきたような環境チャレンジという活動を推しているわけではなく、環境は海だけではなく、山・川などいろいろなところにありますので、今後は意味合いが違ってくるのかなと思います。

○石渡委員

おっしゃる通り環境といっても海だけではなく、山や川もありますので、「環境チャレンジ」というタイトルだけで言うと、いろんなところでの学びがあると思いますので、残った2校もそれぞれが携われる環境で取り組んでいけるようお願いしたいと思います。

○石渡委員

市子連の話ですが、これまでずっとドッチボール大会を行ってききましたが、昨年からはウォーターバトルというものに内容が変わりました。今後もドッチボールはやらないという方向性ですか。

●生涯学習課長

ウォーターバトルがそのまま定着するのか、リニューアルするのかということは考えられますが、ドッチボールに戻ることはないのかなと思います。理由としては、役員の負担が大きいことが一番の要因です。地区予選を行うところもあるなど地区によっての負担度合いも差があるようです。今回コロナがいきいっかけではありますが、役員の負担を軽減しつつ、子どもたちが何かしら体験できる機会は残せないかという観点から色々と議論を交わした形となっています。ある意味まだ試行錯誤の中で行っている状況ではありますが、ドッチボールには戻しにくいと思います。

○石渡委員

子どもたちが年齢上下関係なく触れ合って結束が強まるような行事に定着することができればと思います。

○渡辺委員

6月2日から東部小で地域協働活動が始まり、放課後子ども教室を見学させていただきましたのでその報告を少し。当日は16時に集まり、30分程宿題を行った後、この日の体験はニューモルックを行っていました。ほかの体験メニューとしては地域の歴史を学ぶなどが用意されているようでした。子どもたちの参加は7人と昨年実施した際よりも減っていました。地域の支援員が4人、コーディネーターが3人、社会福祉協議会の方など、子どもよりも大人の方が多かった状況でした。コーディネーターの方曰く、17時に保護者のお迎えを条件としていることが、参加者数が少ない一因ではないかとのことでした。児童クラブに入っている子は児童クラブに戻り、その後のお迎えを待つということができるので、将来的に児童クラブと放課後子ども教室を合体させて機能できるとよいのではと思いました。

●生涯学習課長

将来的に合体させることは理想かなと思いますが、地区によっては公民館と児童クラブが離れていますので、難しい面もあると思います。

○渡辺委員

将棋をやりたいという子も多いようですので、放課後子ども教室のメニューに加えてみてはどうかと思いました。

○教育長

企画展「学生150周年記念わたしたちの学校」については楽しみにしています。

5 その他

・事務局

次回の教育委員会定例会は7月27日（水）午後2時00分から行います。